

令和8年度 学校だより

# まいづるの子

～ふるさとを愛し 羽ばたく子に～



号外 R8.9.30

甲府市立舞鶴小学校

編集 小尾 俊彦

今回の学校だよりは、4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果概要についての特集号です。本校の分析結果がまとまりましたので、その概要を地域の皆様にお知らせします。

## 全国学力・学習状況調査の 分析結果の概要

### 1 調査の内容について

(1)実施日 令和8年4月23日(木)

(2)実施学年 第6学年

(3)調査内容

#### 【教科に関する調査】

◆国語、算数に関する問題

◆出題範囲は、5年生までの学習内容

#### 【生活習慣・学習環境等に関する質問調査】

◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査(オンライン方式)

### 2 本校の結果概要について

- ・国語の平均正答数は全国及び県より高く、算数は全国平均より高い。
- ・学力のばらつきを表す標準偏差は、2教科とも全国平均よりわずかに小さい。
- ・児童質問調査の「算数の勉強は好き」という項目に対し、「好き」と答えた児童の割合が全国平均を上回っている。また、「算数の授業の内容がよく分かる」という項目に対しても、「分かる」と答えた児童の割合が全国平均を上回っている。
- ・「休日の読書時間」「家庭の本の所有数」「新聞の閲覧数」の項目では、全国平均同様、読書時間及び本の保有数ともに少ない。しかし、「平日の図書室利用」の項目では全国平均を大きく上回っていることから、本校図書室の取り組みが成果を挙げていることが分かる。

#### 【国語の概要】

- ・平均正答率は全国及び県より高い。
- ・無解答率は、全ての問題において全国平均を下回っている。
- ・質問調査において「国語の勉強は好きではない」と答

えた児童の割合が全国平均より高い。また、「国語の勉強が得意ではない」と答えた児童の割合も高い。

#### 【算数の概要】

- ・平均正答率は、全国より高い。
- ・無解答率は、全ての問題において全国平均を下回っている。
- ・質問調査において「算数の勉強は好き」と答えた児童の割合が全国平均より高い。また、「算数の勉強が得意」と答えた児童の割合も高い。

### 3 教科別の結果についての考察と 今後の指導について

#### 【国語の分析】

##### (ア) 学習指導要領の領域・評価の観点等より

- ・評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」の両面とも全国平均を上回っている。
- ・「知識・技能」の中の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」のどちらも全国平均を上回っている。
- ・「思考力・判断力・表現力等」の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のどれもが全国平均より上回っている。
- ・問題形式の「選択式」「短答式」「記述式」のどれもが全国平均を大きく上回っている。

##### (イ) 問題の解答から見える実態

###### ◆最も正答率の低かった設問【大問2四】

###### 「書くこと」領域で、条件に合わせて書く問題

- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- 引用すべき部分にかぎ括弧を使わず、自分の考えの一部としまとめて書くという誤答が多かった。

##### (ウ) これからの指導において

- ・本校の児童は、質問調査において、「国語の勉強は好き」と答える児童よりも「好きではない」と答える児童の割合が高い。一方、「国語の授業の内容はよく分かる」と答えている児童の割合は高い。このことは、これまでの丁寧な指導の効果であると考えられる。引き続き丁寧な指導を続けていくとともに、児童が課題に対し主体的に取り組み、他者と対話しながら解決していくことに楽しさを感じられるような授業を心がけたい。
- ・「記述式」の問題の正答率が低く、最後の問題は無解答も一定数いることから、ある文章を読み、条件を踏まえて自分の考えを「書く」経験を積む必要がある。国語科は比較的「書く」活動が他の教科より多い教科ではあるが、それでも時間は限られている。児童の書く力を高めるためには、他の教科においても、資料をもとに自分の考えを書いたり、条件を踏まえて書いたりする活動を意図的に仕組んでいくことが必要である。